

## 静岡経済研究所 SDGsに関する取組内容と目標

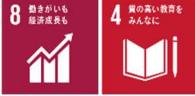
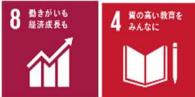
### I. 2030年のあるべき姿

社会環境の変化を見通し、持続可能な地域経済をリードするシンクタンク

### II. SDGsに関するねらいや特徴的な活動

「実証的な調査研究活動により、静岡県経済・産業の発展に貢献する」の事業理念の下、地域への情報提供や地域課題への提言を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

### III. 目標に関連する取組内容

ゴール	2025年の取組内容	2026年の取組目標
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌やニュースリリース、SNS等を通じて、調査・研究結果を広く地域に還元。大学での講義や地域イベントへの参加、中国人研修生の受入れなど、地域教育や日中友好関係構築に貢献。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成に注力することで、持続可能な地域経済・地域社会に役立つ調査・研究を充実させるとともに、結果を広く地域に還元する。</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体や金融機関と連携し、脱炭素や生物多様性に関する調査およびインパクト評価業務を実施。環境省の地域インパクトに関する実証事業に参画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに関する情報発信や啓発活動を拡充するとともに、ESG金融やインパクト・マネジメントの地域への普及や高度化に寄与する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内自治体・企業等との景況調査、経営実態調査、経済波及効果測定調査等に関する共同調査・受託調査を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内自治体・企業等との連携を強化し、行政施策や企業経営に寄与する有益な調査を実施する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレックスやリモートワークの推進、有給休暇取得の奨励や産休・育休、介護休業など柔軟な働き方を促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な働き方と業務効率を両立させ、全所員が働きやすい職場環境を整備する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIや自動文字起こしサービスの導入など、IT化による業務効率向上。アンケート調査やセミナー申込み等におけるWEB化を促進、利用率向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版物やアンケート調査等の電子化を図り、ペーパーレスと業務効率向上を実現する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明化による効果検証など導入に向けた検討・協議を進め、工事日を決定。静岡県のグリーンボンド購入。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス全体のLED照明化を実施。</li> </ul>

以上